

「令和5年度病虫害発生予報第2号」の発表について

○向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 麦では、赤かび病の発生が、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、たまねぎのべと病の発生が、北関東、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 茶では、カンザワハダニの発生が、南関東、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、トマトのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

国の病虫害発生予察情報及び都道府県病虫害防除所のリンク

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう 1 か月の予報（5月11日付け）では、気温は北日本で高く、東日本で平年並か高く、沖縄・奄美で平年並か低いと予想されています。降水量は全国で平年並と予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL：https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稻

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	イネミズゾウムシ		北陸、東海、中国、四国

・ スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、昨年多発生となった地域では、多くの貝が越冬しているおそれがあります。被害を抑えるため、移植時の浅水管理や薬剤散布の実施を検討してください。

なお、スクミリンゴガイは、農機具・機械に付着した泥とともに他のほ場へ拡散することがあ

ります。発生は場で使用した後は泥をよく落としてから移動させるよう心がけてください。
農林水産省では、スクミリンゴガイの被害防止対策に関するマニュアルや動画などをホームページに掲載しています。詳しくは以下のURLからご覧ください。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について
参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryou2/sukumi/sukumi.html>

麦

麦で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
麦	赤かび病	東海、近畿	北東北、四国、北九州
	うどんこ病	北陸、東海	北東北、甲信

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・赤かび病は、東海及び近畿の一部の地域で発生が多くなると予想されており、愛知県及び滋賀県から注意報が発表されています。本病に感染しやすい時期を捉えた防除が重要であり、下表のとおり、麦の種類ごとに防除時期が異なります。昨冬から今春にかけて気温が高かった地域では、麦の生育が当初の予測よりも早まる可能性があります。都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、地域ごとの防除適期を確認して的確に防除を実施してください。
なお、防除適期に降雨が続く場合は、降雨の合間に防除を実施してください。

麦の種類	最初の防除を行う生育時期
小麦	開花を始めた時期から開花最盛期まで
二条大麦	穂揃い期の10日後
六条大麦	開花を始めた時期から開花最盛期まで

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アザミウマ類	中国	南関東
	アブラムシ類	東海	北陸、近畿、中国
	ハダニ類	北九州	中国、四国
	うどんこ病		北関東、中国、四国
きゅうり	アザミウマ類	南関東、四国	南九州
	コナジラミ類	南関東、四国	北関東、近畿、北九州
	うどんこ病		南関東、四国、南九州
	灰色かび病	四国、南九州	
	べと病	北関東、四国、北九州	東海、南九州
たまねぎ	アザミウマ類	北九州	近畿
	べと病	北関東、中国、四国、北九州	北陸、東海、近畿
トマト	コナジラミ類	南関東、東海、四国、南九州	北九州、沖縄
	黄化葉巻病	東海	北関東、中国、四国、沖縄
	灰色かび病	南関東、四国	中国、南九州

	葉かび病	四国	北関東、南九州
なす	アザミウマ類	四国	南関東、近畿
	すすかび病	四国	近畿
	灰色かび病	四国、南九州	東海、近畿、南九州
ねぎ	べと病	北関東、四国	
アブラナ科全般	コナガ	北陸	東海
きく	ハダニ類	南九州	近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

■ たまねぎ

・べと病は、北関東、中国、四国及び北九州の一部の地域で発生が多くなると予想されており、島根県及び香川県から注意報が発表されています。ほ場を見回り、り病株の抜き取りを実施するとともに、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、薬剤防除を的確に実施してください。

■ 果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭疽病		北陸、東海、近畿、四国
かんきつ	ハダニ類	東海	南関東、四国、九州
	かいよう病		近畿、四国、北九州
	そうか病		南関東、東海、近畿、中国、四国、北九州
なし	シンクイムシ類	北陸、東海	南関東、中国
	黒星病	北陸	南東北、東海、中国、北九州
ぶどう	べと病		甲信、東海、北九州
もも	シンクイムシ類		東海、中国、四国
	せん孔細菌病	四国	近畿
果樹共通	果樹カメムシ類		南関東、中国、四国、北九州
茶	カイガラムシ類	南九州	北九州
	チャノミドリヒメヨコバイ	南関東、東海	南九州
	ハダニ類	南関東、東海、北九州	近畿、南九州
	ハマキムシ類		南関東、東海、近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

■ 茶

・カンザワハダニの発生が、南関東、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫は気温が高いと増加する傾向があるため、気温が高くなると予想される地域において本虫の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期

に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和5年4月13日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
4月25日	香川県	たまねぎ、ねぎ	タマネギべと病、ネギべと病
4月27日	滋賀県	小麦	コムギ赤かび病
4月28日	岩手県	りんご	キンモンホソガ
4月28日	愛知県	小麦	コムギうどんこ病
4月28日	愛知県	麦類	麦類赤かび病
5月1日	島根県	たまねぎ	タマネギべと病
5月11日	福島県	もも	モモハモグリガ

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
4月26日	熊本県	さつまいも	サツマイモ乾腐病
4月28日	福岡県	サカキ	サカキブチヒメヨコバイ
5月1日	大分県	スモモ	スモモミハバチ
5月12日	神奈川県	トマト	トマト葉かび病（レース4.9、2.4.9）
5月12日	沖縄県	きく	キクわい化病
5月12日	沖縄県	トマト	トマトキバガ
5月12日	沖縄県	きく	<i>Gibellulopsis chrysanthemi</i> による病害
5月15日	熊本県	ショウガ	ショウガ紅色根茎腐敗病

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法の改正により、新たに重要病害虫発生時の通報に関する規定が追加されました。我が国未発生又は我が国の一部のみに発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第3号：6月14日(水曜日)

第4号：7月12日(水曜日)

第5号：7月26日(水曜日)

第6号：8月9日(水曜日)

第7号：9月13日（水曜日）
第8号：10月11日（水曜日）
第9号：11月15日（水曜日）
第10号：令和6年3月13日（水曜日）

（参考）これまでの発表
第1号：4月12日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、吉田、河合

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382